



学校だより
9月号

しもつ

令和7年8月21日
海南市立下津小学校



「憧れ」

下津小学校長 川村 繁博

暑さ厳しい日が続きますが、今日から2学期が始まります。毎年「ひと夏を超えて、子供達も大きく成長したなあ。」といった話を先生方が職員室で話しているのを耳にします。毎日顔を合わせているとなかなか気づきにくいものですが、少し間を取って見てみると知らないうちに成長した子供たちの心の成長に気づくものです。

普段は、プロ野球をあまり見ることがないのですが、高校野球が始まるとつい見入ってしまい応援に熱が入ってしまいます。高校生活という数少ない限られた時間の中で、3年生にとっては、共に練習に励んだ仲間との最後の舞台だからこそたくさんの思いの詰まったプレーとなって人を引き付けるのでしょうか。下津小学校の子供達も、学校生活の中で学級の仲間たちやクラブや習い事の仲間たちとそんな時間や思い出ができるといいなと思います。

さて、皆さんは県立岐阜商業の横山温大選手を知っているでしょうか。横山選手は、生まれた時から左手の指がありませんでした。甲子園に出場を決める強豪校の中で、バッティング、捕球してからの送球等を考えると、レギュラーをつかむためには相当な努力があっただろうと思いました。

横山選手が夢を叶えることができたその背景には、もう一つかけがえのない出会いがあったことを知りました。それは、大リーグのカリフォルニア・エンゼルスやホワイトソックスで活躍したジム・アボット選手との出会いです。ジム・アボット選手（先天性右手欠損）が活躍したのは横山選手が生まれるずっと前、1999年には引退しています。実際に会うことはありませんでしたし、存在自体を知らないまま過ごしていたかもしれません。しかし、その存在を教えてくれた人がいました。

「親に教えてもらって、大リーグにそういう選手がいたんだなと驚きましたし、すごいと思いました。自分でもこういうことができるかなと希望が見えました」

横山選手はNHKの取材でこう答えていました。

憧れや勇気、夢や希望は、子供達が前に進む原動力となります。そして、私たち大人はそのきっかけをつくることができるのだと改めて感じました。

横山選手は、インタビューの終わりにこう話していました。

「甲子園は観客も多くて注目される大きな舞台で憧れ。ここで活躍して、自分と同じような境遇の子どもたちにもやればできるんだと教えてあげたいです」

「家族や周囲の人がいっぱい応援してくれて、支えてもらったので、自分の活躍を見てもらえてとてもうれしいです。

まだまだ甲子園で活躍して自分のように障害があっても周りのみんなに負けないプレーができることを示していきたいです」

今を真っすぐに精一杯生きる子供達には本当に大切なことを学ばせてもらいます。

8・9月行事予定

日	曜	行 事
8月		
21	木	始業式 13:00 下校 セーフティーネット
22	金	身体測定 短縮 13:20 下校
25	月	短縮 13:20 下校 キッズ救命講習(5年) キッズサポート学習(2・5年)
26	火	短縮 13:20 下校
27	水	短縮 13:20 下校 キッズ救命講習(3年) 育成会役員会 19:00
28	木	短縮 13:20 下校 SC 来校
29	金	たちばな支援学校との交流(2年) 平和学習(5・6年) 10:20 短縮 13:20 下校
9月		
3	水	チャレンジ学習(5年)
7	日	環境整備作業・資源回収 7:00
11	木	SC 来校
15	月	敬老の日
17	水	委員会 なかよし水泳(たんぼぼ・すずらん学級)
23	火	秋分の日
24	水	社会見学(大阪・関西万博)
25	木	SC 来校
26	金	運動会予行 13:30 下校